

## 東広島市西条酒蔵地区伝統的建造物群保存対策調査の結果について

### 1 調査の目的

この調査は、東広島市西条酒蔵地区の伝統的建造物群について、その保存状況に関する基礎的な資料収集、及び現況把握並びに保存に向けての課題抽出のために行ったものである。

### 2 調査の概要

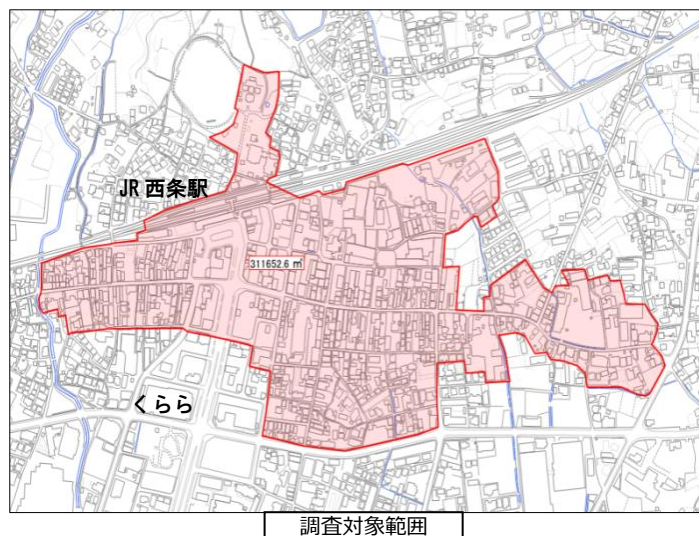
(1)調査期間 平成 30 年 9 月～令和 2 年 12 月

(2)調査範囲 約 32ha (右図のとおり)

(3)調査方法 国立大学法人広島大学へ委託

(4)調査内容

- ・ 建築史、建造物調査  
延 346 棟
- ・ 都市史調査 歴史・古文書調査
- ・ 景観調査 町並の景観
- ・ 民俗調査 年中行事、瓦・樽等
- ・ 社会調査 防災、住民アンケート



### 3 調査結果の概要

別紙のとおり

### 4 今後の予定

(1) 保存対策の方針検討

令和 3 年 1 月～ 関係部課で協議 早期に方針決定

(2) 調査結果の報告

令和 3 年 1 月 14 日 文教厚生委員会で報告

令和 3 年 1 月 18 日 全員協議会で報告

令和 3 年 1 月 28 日 教育委員会定例会で報告

令和 3 年 2 月 2 日 東広島市西条酒蔵地区伝統的建造物群保存対策審議委員会の開催

令和 3 年 2 月 8 日 講演会・シンポジウムの開催 (芸文ホールくらら・小ホール)

日本の 20 世紀遺産 20 選活用に関する講演会～東広島市西条酒蔵地区伝統的建造物群保存対策調査報告会～

## 東広島市西条酒蔵地区伝統的建造物群保存対策調査結果の概要

### 1 西条酒蔵地区の町並みの特徴

#### (1) 建築物の特徴

町並みを構成する建築物には、街道沿いの町家、酒蔵の建築、寺社建築がある。

種別	特徴
町家建築	街道沿いに主屋をたて、背後に角屋を突き出して台所とする。屋根には赤棧瓦を葺く。
酒蔵建築	立地 明治後期以前：街道に面した主屋の背後に配置する。小規模なものが多い。 明治後期以後：町並みの後背地の大規模な敷地に広大な酒蔵群を建築する。 特徴 下屋を土壁で囲み、窓を漆喰塗りの土戸とすることが他地区にみられない特徴。
寺社建築	町並みの背後に位置する。近代に整備されたものが多く、絢爛豪華な建築が特徴。
地割	江戸時代の宿場町の短冊形の地割と、周辺の田畑を合筆した近代の醸造町の地割からなる空間構成に特徴がある。

#### (2) 町並みの景観の特徴

景観を特徴づける要素として建築物のほか、井戸、煙突、門、石組溝、石造物、庭園、樹木がある。

煙突	形状	方形のものと円形のものがあり、円形は昭和初期に出現する。
	素材	レンガ造りとコンクリート製がある。コンクリート製は昭和初期に出現する。
	特徴	当地区にはレンガ造りで方形のものが圧倒的多数を占めており、特徴的。

#### (3) 地域の祭礼行事と伝統産業の特徴

祭礼行事としてトンド、シンメイ等が挙げられる。伝統産業としては、酒造業に加え、西条の赤瓦生産と桶樽の生産等がある。

伝統産業	特徴	現状
赤瓦	19世紀初頭石見地方から技術者が移住。良質の粘土と西条来待という釉薬で生産が盛んになった。時代により様々な色合いがある。	鬼瓦、鯨などの役物のみ生産
樽・桶	酒造業の発展により竹原などから生産者が移住。最盛期は7軒。	現在は無い
菰樽	大正期に尼崎から職人が移住。化粧菰を生産	現在も1軒が営業

### 2 西条酒蔵地区の町並みの評価

- (1) 西条酒蔵地区は、江戸時代の宿場町から近代の醸造町へと発展した町であり、明治から昭和初期の町家・酒蔵がJR西条駅の東南側で密集して残っている点で評価される。
- (2) 岡町地区、駅北地区にはそれぞれ宿場町の名残をとどめる町並み、歴史的な寺社の境内がまとまって残っていることが確認された。(第1図の緑破線で囲まれた区域)
- (3) JR西条駅の東南側から土与丸の西端一帯に、江戸時代の宿場町を継承した地割と田畑を転用・合筆してできた近代の醸造町としての地割からなる空間特性が残る点が評価される。
- (4) 建物・土地の利用が更新されやすく、伝統的な建造物を取り壊された跡には、洋風建築や駐車場が造られる傾向にあることが明らかになった。

### 3 調査で抽出された課題

#### (1) 景観整備の課題

- ・低層建物が連続する街路景観中に遠望される高層建物が視覚的障害となっている。
- ・許可基準や修景基準で景観誘導を行うなど、画一的な方法に頼らない慎重な景観整備等が求められる。

#### (2) 地域社会の現状及び防災計画にかかわる課題

- ・生活の利便性が高く、建物利用、土地利用が更新されやすい。
- ・交通量が多く安全な歩行者空間の確保が必要である。
- ・火災と水害のリスクが高く、独自の防火及び水害に対する防災計画の策定が求められる。

#### (3) アンケート調査結果にみる課題

- ・回答者の約半数が自らの住まいについて明確な方針を持っていない。
- ・家屋の修理に対する行政の補助、区内を通過する自動車通行量・歩行環境に対する不満がある。
- ・西条酒蔵地区の歴史的価値の共有や普及啓発、担い手づくりへの取組が求められる。

### 4 町並みの保存に向けて

#### (1) 保存の考え方

町並みの保存のために活用される手法の1つに「伝統的建造物群保存地区」制度があるが、全国的に見たとき、酒造が盛んな醸造町において、この制度で地区指定を行い町並み保存に取り組んでいる事例は数少ない。これは、現在も酒造が行われ、その発展には建物の増改築等が必要となるためであり、「保存」という発想が根付いていないことを示している。

それに対し、西条酒蔵地区では、酒蔵の多くが登録有形文化財となっていて、建物の外観を残しつつ建物の中を改造して酒造りのシステムを更新する、又は観光用に改造するということが既に根付きつつあることから、「伝統的建造物群保存地区」の制度による保存についても親和性があり、生業を持続しつつ、観光価値を向上させる可能性がある。この点で、西条酒蔵地区の保存に伝統的建造物群保存地区制度の活用が期待されるものである。

#### (2) 保存計画策定の際の要点

##### ア 保存地区の設定

江戸時代の宿場町を基盤に近代の醸造町が折り重なるという点にこのまちの特徴がある。特にこの特徴が集中して残る西条駅の東南側一帯で町並みや景観の保全が求められる。

##### イ 伝統的建造物の特定

町並みの保存計画策定にあたっては、保存すべき伝統的建造物を特定し、現状変更等の基準を定める必要がある。

##### ウ 伝統的建造物以外の現状変更基準等

伝統的建造物以外の建築物等については、許可基準、修景基準を定め、周囲の伝統的建造物と整合性のある修景・開発抑制を行う必要がある。

#### (3) 西条盆地全体の歴史的風致の保全

西条の町並みや特徴ある醸造業は、西条盆地の自然環境とそこで育まれた文化や風習があって成り立っている。西条の町並みを生きたものとして持続させるためには西条盆地全体の歴史的風致を守っていく必要がある。

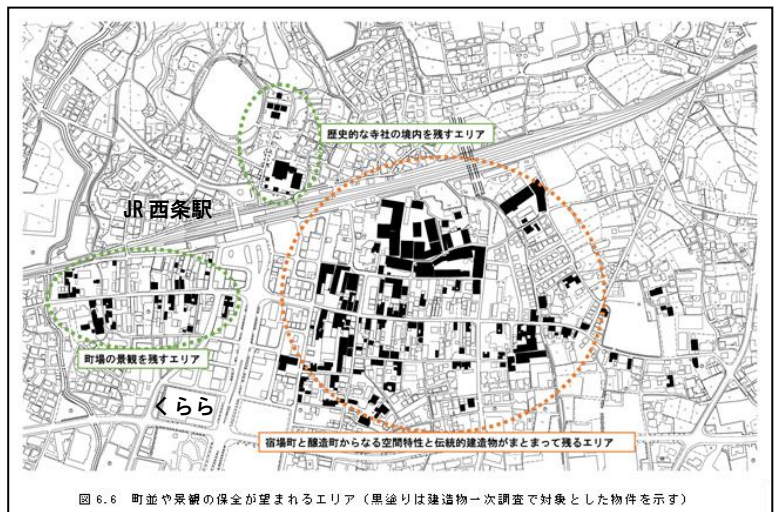


図 6.6 町並や景観の保全が望まれるエリア（黒塗りは建造物一次調査で対象とした物件を示す）

第 1 図 保存が求められる範囲 ●●●● で囲まれた区域